



since 1960

# 三条金物卸商協同組合

— 三条金物倶楽部 —

ニュース速報

共に考え 共に学び 自ら切り拓こう 私たちの三条金物卸商

## 「鍛冶屋訪問事業」



去る11月22日に「鍛冶屋訪問事業」が行われました。この事業は地場製品の製造現場を見学して、商品知識を深めるのが目的です。訪問先㈱山村製作所、㈱ダイヤウッド、五十嵐刃物工業㈱（敬称略）でした。15社20名と多くの組合員が参加されました。また、訪問先の3社の皆様には忙しいお時間にお邪魔させて頂き、誠にありがとうございました。

今回訪問させて頂いた3社ともに鍛冶屋さんとは少し赴きが違うにしても鋏メーカー。常日頃、鋏を販売する営業マンとしては興味津々です。最初は山村工業㈱様を見学しました。こちらは理美容鋏、利器材に特化したメーカーさんです。鋼材の販売から製品化までの全工程を一貫生産されているそうです。

また鍛造材や半製品までも販売されているとの事、幅広い販路をお持ちだそうです。実際に現場を拝見すると工程ごとに効率よく配置されており、とてもきれいにされていました。また商品品質にはこだわりがあり、チェックを怠らないそうです。また、毛すき鋏の製造工程では銅メッキのワイヤーに電気を通して楕円状にカットしており、その断面図の滑らかさには驚きでした。理美容の鋏が高額になるのもうなずけます。

2件目は(株)ダイヤモンド製作所様です。昔ながらの羅紗切鋏のメーカーです。現在はハンドルなどの材料を集めるのが大変になってきたそうです。以前ならイモノが当たり前でしたが、現在は入手困難で鍛造品で何とかカバーしているとの事です。ただ、そんな中でも品質にこだわり良い羅紗切鋏を作っていくことが誇りと言われました。説明の方から「家庭で洋裁、和裁をされる方が少なくなっている昨今、皆さんの自宅に羅紗切鋏が有りますか」と聞かれた時、ちょっと答えに詰まりました。また、現場ではこちらでも効率よく工程ごとに配置されていました。作り方で教わった中で印象に残った言葉は「鋏にひねりを与える事でバネになり、切れ味が増す」です。最初はぴんと来なかったのですが、詳しくお聞きすると鋏は面で切るのでは無く、点で切っていくとの事、だからひねりを与えると点で切る良い鋏ができるそうです。とても納得できました。

最後は五十嵐刃物工業(株)様です。刈込鋏と鉋等と園芸用品のメーカーさんです。一般ユーザー向けからプロ向けまでと様々な商品を作っています。日本独特の伝統工法にプラスして、尚且つ絶妙な材料配分によって対摩耗性に優れた切れ味の商品を生み出しています。社長様のお話で「我が社は鍛冶屋とは言えないかもしれませんが素材を極めるメーカーです」との言葉に強い意志を感じました。また、製造現場では全商品にロットナンバーを入れて有り、万一不具合が出た場合にはすぐに確認が取れるようにしているそうです。その管理対策には驚きでした。

最近では製造現場に立ち入る事ができるメーカーが減っており、我々の勉強できる機会が減っています。このような企画がもっともっと有った方が良いと思います。皆さんも機会が有りましたら、是非参加されることをお勧めします。(五十嵐(義))

